

サツマイモ基腐病対策のポイント④

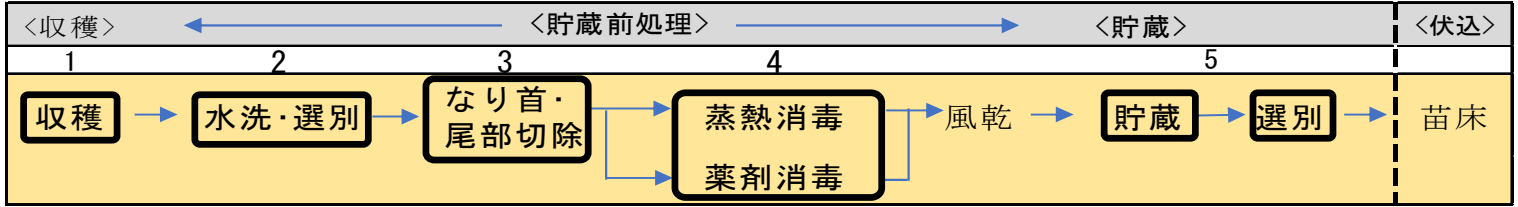
<健全種いもの確保に向けて>

農産園芸課サツマイモ基腐病対策班



令和6年産の被害軽減に向けて、健全な種いものを準備しましょう！

基腐病等による種いもの腐敗を防ぐための作業工程図



1 収穫(健全種いもの確保)

種いものは、茎葉、株元に病気の発生が見られないほ場から採取しましょう(図1)。

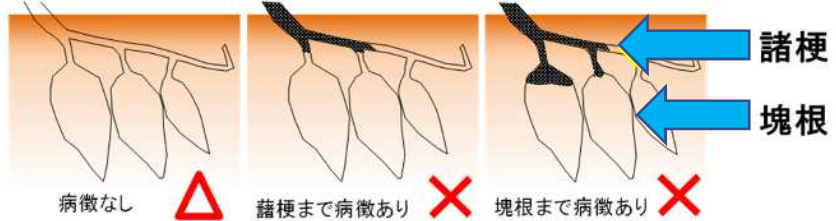


図1 基腐病の病徴が無い株から種いものを採取する

2 水洗・選別

流水で種いも表皮の土を軽く洗い流すと、表皮の変色が変わりやすくなり、異常な種いもを効率的に除去することができます(図2)。

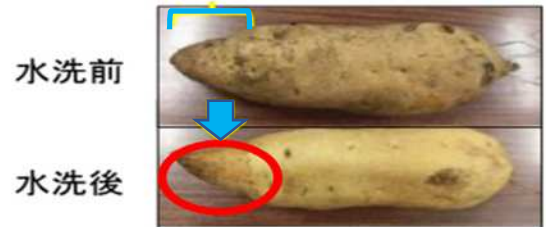


図2 基腐病の病徴の見え方の違い

3 なり首・尾部切除

- なり首は基腐病, 尾部は乾腐病等の貯蔵病害を予防するために切除しましょう(図3)。
- 切除に使用したハサミ等はこまめに消毒しましょう。
- ※ 消毒は火炎滅菌又は丁寧な洗浄と拭き取りを行う。

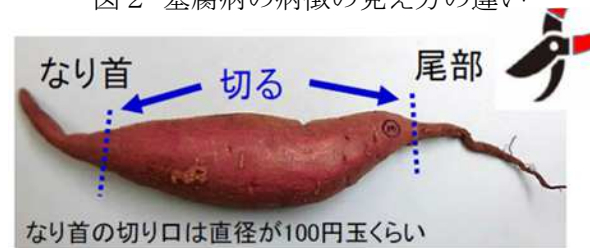


図3 なり首・尾部の切除方法

4 種いも消毒(種いも消毒は貯蔵前に行う)

(1) 蒸熱消毒(原則, 9~11月の暖かい時期に行う)

蒸熱消毒直後は、表皮が柔らかく傷つきやすいので、以下に注意しましょう。

- ① いもの表皮に傷をつけないよう、丁寧に取り扱い。
- ② 低温(14℃未満)にさらさず風通しの良い場所で十分に風乾する。
- ③ 蒸熱消毒をしてすぐに伏せ込みを行わない。

(2) 薬剤消毒

トップジンM水和剤200倍液に30分間浸漬しましょう。黒斑病の防除にもなります。

※14℃未満の低温にさらさず風乾させ、表皮が乾いたことを必ず確認してから貯蔵しましょう。

5 貯蔵・選別

- 温度(14~15℃)と湿度(85~95%)を確保できる定温貯蔵庫で保管しましょう。
- 貯蔵中に腐敗した種いもは取り除き、周囲の健全種いもへの伝染を防止しましょう。

ご不明な点がございましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム(事務局:地域振興局・支庁農政普及課)にご連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業(01020C)」の成果を活用しました。